

I. 調査の目的

西東京市内において運行を行っているコミュニティバス（はなバス）については、平成 25 年 8 月に運賃及び運行ダイヤの見直しを実施した。

本調査は、見直し後の利用状況を各バス停における乗降状況や郵送によるアンケートにより把握し、平成 25 年 8 月に実施した見直し前の乗降調査結果（平成 24 年 1 月実施）等と比較することにより運賃改定の影響の検証を行うとともに、はなバスルート等の見直しや新規路線の検討を行うことを目的に実施するものである。

II. 調査実施概要

1. 調査フロー

本調査は以下に示すフローに従って実施した。

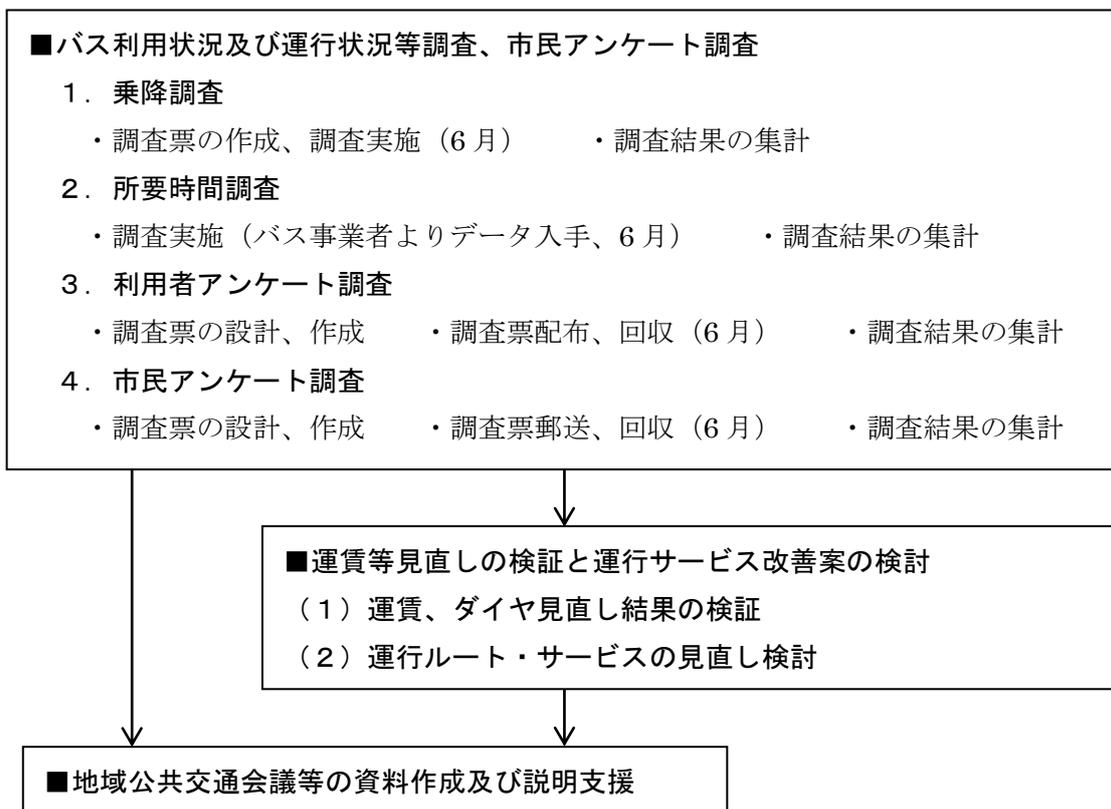


図 II-1-1 調査フロー

II. 調査実施概要

2. 調査実施概要

2-1. 調査内容

はなバスの運行状況、利用状況、利用者・市民の意見意向を把握するため、次の調査を実施した。

表Ⅱ-2-1 調査内容

調査項目	調査内容
乗降調査(OD調査)	・利用実態の把握(利用者数、バス停間流動、利用時間帯等)
所要時間調査	・所要時間データに基づく遅延状況の把握
利用者アンケート調査	・利用実態の把握、運賃見直しによる行動変化の把握 ・利用者の意見、意向の把握
市民アンケート調査	・認知度や利用状況、利用しない理由等の把握 ・市民の意見、意向の把握(はなバス利用者、非利用者ともに対象)

2-2. 実施日時

乗降調査、所要時間調査、利用者アンケート調査は、次に示す日時に実施した。

平日 平成26年6月10日(火)

休日 平成26年6月15日(日) ※共に始発出発時から終発到着時まで実施した。

2-3. 各調査の概要・方法

(1) 乗降調査(OD調査)等

①目的 : はなバスの利用実態を把握し、運賃及びダイヤ見直しの効果・影響を考察
今後の改良のための基礎情報の把握

②調査手順

・バスに調査員2名が乗り、各バス停で乗車した利用者に調査票を配布、降車時に回収することで乗降のペア(OD)を把握した。また、各バス停で乗り切れなかった人数を把握した。

③調査票

乗り	第1ルート・保谷駅北口/北町循環	降り
0	保谷駅北口	0
1	あらしき公園北	1
2	下保谷4丁目	2
3	南宮ノ脇	3
4	北宮ノ脇	4
5	北町5丁目	5
6	北荒屋敷	6
7	変電所東	7
8	北町4丁目住宅	8
9	上後	9
10	青嵐台	10
11	上前	11
12	下保谷2丁目住宅北	12
13	下保谷2丁目住宅西	13
14	ポケットパーク	14
15	東松ノ木	15
2	下保谷4丁目	2
1	あらしき公園北	1
0	保谷駅北口	0

※利用者属性の記号について

1 : 男性
2 : 女性

ジ : 児童(未就学児を除く)
ガ : 学生(中・高・大・専)
オ : 大人
コ : 高齢者(65歳以上)

IC : ICカード利用
ケン : 現金払い
カイ : 回数券利用

※利用者の属性については、調査員が目視で判断して記入し、その上で利用者に渡した。

1 2 ジ ガ オ コ IC ケン カイ

図Ⅱ-2-1 乗降調査の調査票

④把握内容とねらい

乗降調査の目的を基に、次表に示す調査項目を設定した。

表Ⅱ-2-2 乗降調査内容

区分	調査項目・内容	ねらい
利用実態	乗車・降車バス停ペア(便別)	運賃・時刻変更による変化と改善のための基礎情報の把握
個人属性	性・年齢層(目視で判断)、利用券種	属性別の利用状況の把握
満員通過	バス停別乗り切れなかった人数	満員通過の実態把握、改善のための基礎情報の把握

(2) 所要時間調査

①目的 : はなバスの運行実態把握、ルート改良を検討する際の基礎情報の把握

②調査概要

・ICカード乗降データ、バスロケーションシステムを基に各便の所要時間を把握した。

③把握内容とねらい

把握内容 : バス停別通過時刻、所要時間(共に、平休別・ルート別・便別)

ねらい : 遅延が目立つルートや時間帯を把握し要因分析及び改善案検討の資料とした。

(3) 利用者アンケート調査

①目的 : はなバスの利用実態把握や運賃見直しの影響、利用者の意向・要望の把握

②実施手順

・利用者が降車する際に返信封筒に入れた利用者アンケート調査票を手渡し郵送にて回収した。
 ・回収率向上のため、郵送回収のほかバス車内及び田無・保谷両庁舎受付に回収箱を設置した。

③配布・回収について

・平日、休日それぞれ、最大3,000票を目標に配布した。
 ・配布対象は、16歳以上とした(年齢は調査員が目視で判断)。

④調査項目の設定と調査票の設計

・利用者アンケートの目的を基に調査項目を設定した。(※調査票は38頁～40頁を参照)

(4) 市民アンケート調査

①目的 : 市民を対象に、はなバスの認知度や利用頻度、利用意向、意識の把握

②調査概要

・市内に在住の16歳以上の市民を対象に住居基本台帳から抽出し、郵送にてアンケート調査票を配布し、回答後、郵送にて回収した。対象者抽出の際は、地域に偏りが生じないようにした。
 ・回収率向上のため、郵送回収のほかバス車内、田無・保谷両庁舎受付に回収箱を設置した。

③配布数

・計3,000票の配布とした。(※実際の配布実績は2,994票である。)

④調査項目の設定と調査票の設計

・市民アンケートの目的を基に調査項目を設定した。(※調査票は65頁～68頁を参照)

II. 調査実施概要

■ はなバスの運行概要

表 II-2-3 はなバスの運行概要

ルート	運行区間	運行便数(平日/休日) H24.1⇒H26.6
第1ルート	保谷駅北口～北町循環～保谷駅北口	43便/43便 ⇒ 変更無し
第2ルート	東伏見駅北口～保谷駅南口	56便/56便 ⇒ 39便/39便
第3ルート	田無駅～東伏見駅南口	38便/38便 ⇒ 33便/33便
	田無駅～向台循環～田無駅	27便/27便 ⇒ 28便/28便
第4ルート	田無駅～多摩六都科学館	60便/60便 ⇒ 60便/56便
第5ルート	ひばりヶ丘駅～住吉・泉町循環～ひばりヶ丘駅	20便/21便 ⇒ 16便/16便
	ひばりヶ丘駅～西東京市役所保谷庁舎	10便/8便 ⇒ 20便/20便



図 II-2-2 はなバスルート

注) 紺色の線は一般路線バスルートであり、線の太さで運行本数を表している。

■ アンケート集計の地域区分の設定

地域別にアンケート結果を集計する際、次図の通り市内を5つの地域に区分した。

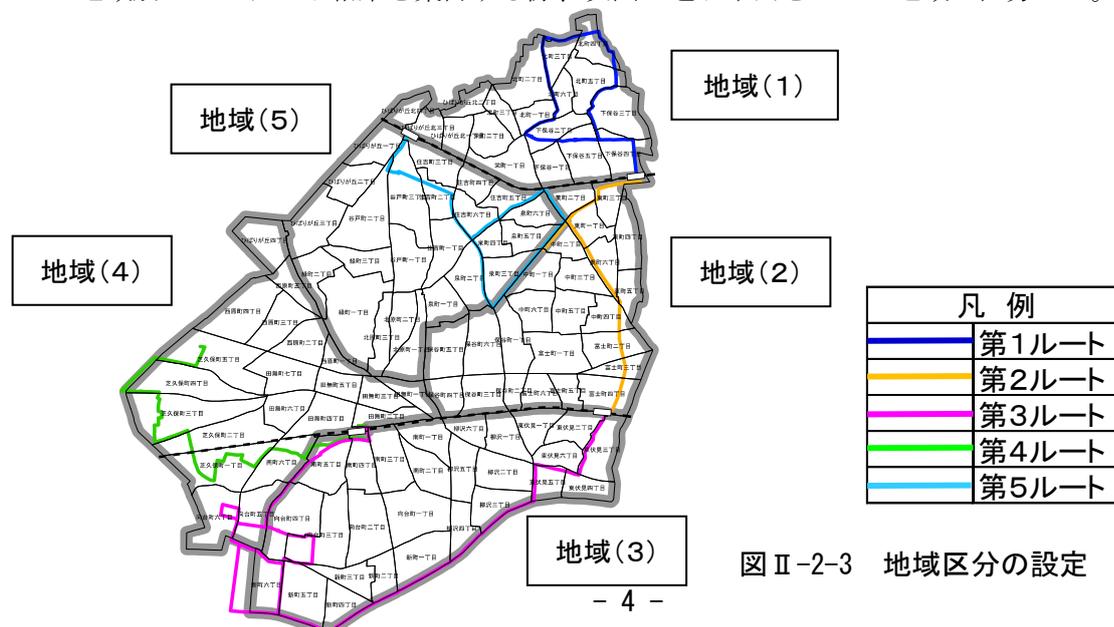


図 II-2-3 地域区分の設定